

# 事業概要票

事例NO. 57（平成23年度発表）

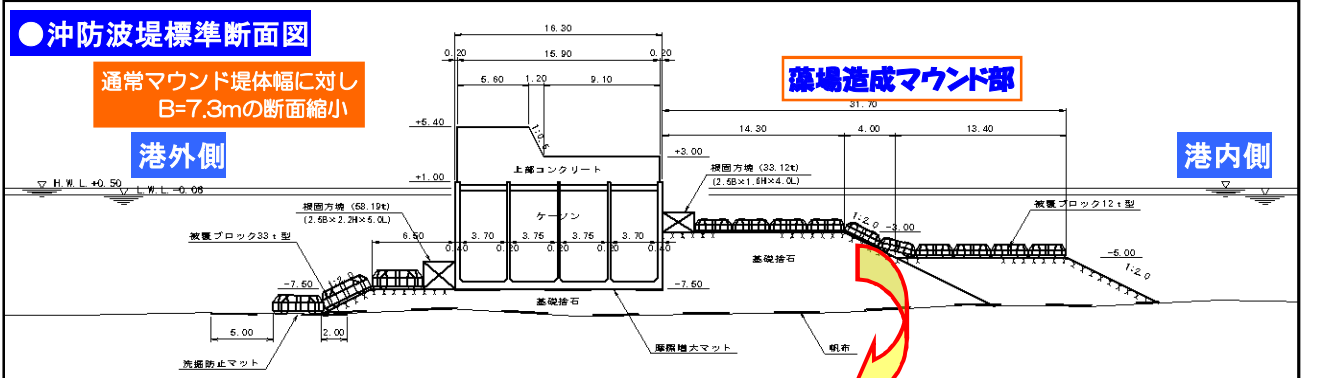
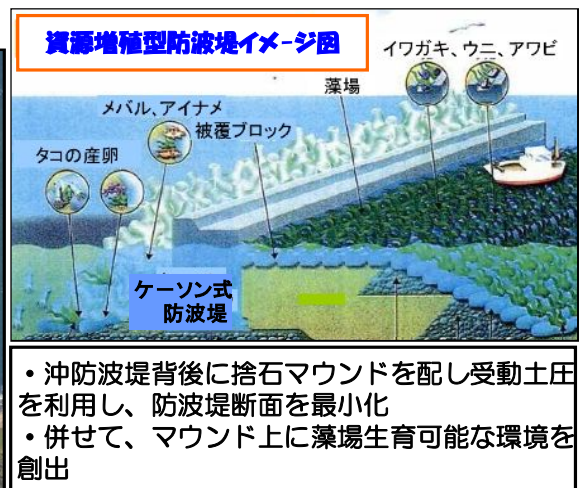
事例キーワード

施設と一体的に水産環境を整備

事業名		地域水産物供給基盤整備事業 金浦地区
事業担当機関		由利地域振興局 農林部
事業期間		平成14年度 ～ 平成27年度
実施場所		にかほ市金浦
事業概要	全体事業費	5,503百万円
	工事概要	防波堤L=534m、護岸L=706m、岸壁L=298m、臨港道路L=750m、増殖場A=6.5ha 他
	事業の目的	○水産物資源の持続的利用と良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備 ○資源管理型漁業、つくり育てる漁業の推進 ○水産物資源の生息環境となる漁場等の積極的な保全・創造 ○水産業の振興を核として良好な生活環境の形成を目指した漁村の総合的な振興
環境配慮の内容	1. 防波堤背後の捨石マウンドを幅広にし、小段を設け、マウンドや被覆材を着定基質とした藻場生育環境を創出 2. 背面マウンド部の受動土圧抵抗を考慮し、防波堤として機能する施設断面を最小化 3. 人為的サポートによる核藻場形成を促す段階的な取り組み（藻床板移植、スポアバック法による幼胚拡散） 4. 他工事等で発生した石材等を選別し、マウンド築立材にリサイクルし環境負荷を低減 5. 工事施工時における基礎捨石の洗浄等を実施し、周辺海域の水質を保全 6. 漁業生産活動との調整及び水産生物の繁殖・産卵時期等の工事を回避又は最小化	
の施状工況後	1. 沖防波堤の施設機能である波浪防止による港内静穏度の向上が防波堤延伸に伴い顕著となっている。 2. モニタリング調査結果によると核藻場の形成はもとより、周辺への幼胚の拡散が確認されている。 3. 形成された藻場の周辺には、春季にメバルの稚魚等が確認される等、魚類の生息環境が創出された。 4. 最新のモニタリングでは、被覆ブロックに着生したホンダワラに多数のハタハタ産卵塊が確認された。 5. 基礎マウンド背面の嵩上げにより、津波等に対する堤体の滑落防止が働き、粘り強い構造となっている。	

施設と一体的に水産環境を整備

## 図面、写真、説明





図面、写真、説明

